



野山には新緑も目立ち始め、音戸町と倉橋町の架け橋であるこの呉市立明德中学校にも、出会いの喜びと始まりを感じさせる季節がやってきました。

本校は、倉橋島のほぼ中央に位置し、とても豊かな自然に恵まれています。

4月7日の入学式で、新入生10名を迎え、全校生徒36名(新3年生12名,新2年生14名)でのスタートとなります。

現在の中学生が将来生きる社会は、Society 5.0 と呼ばれる超スマート社会、人生100年時代が到来し、予測不可能な激動の時代になると言われています。

明德中学校の生徒には、そのような社会を生き抜くため、「夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力」を、しっかり身につけてもらいたいと思っています。明德中学校の先生方は、確かな学力と豊かな心、主体的に生きる力を、授業をはじめとする学校生活の中で育ていけるよう、みなさんに寄り添い、みなさんの成長を支援していきます。

明德中学校で過ごす3年間で、一人一人が誇りを持ち、明德中学校で学んでよかったと心から思える学校を目指し、すべての教職員とともに子供に寄り添い、力を尽くしてまいります。

どうぞよろしくお願いいたします。

令和3年4月 呉市立明德中学校 校長 畑尻 佳括